

「性を売る女、買う男」

第1回	「聖書に登場する売春女性たち」	文学部総合文化学科 准教授 中野 敬一
6月14日(金) 14:00~15:30	聖書では女性売春者が「娼婦」あるいは「遊女」という用語で登場します。彼女たちを見る周囲の目は厳しく、「罪人」という扱いを受けていました。しかしイエス・キリストは彼女たちに憐れみをもって接し、時には彼女たちを高く評価もしています。にもかかわらず、キリスト教の歴史でそれらが崩されていったのは何故でしょうか。キリスト教の影響が強い欧米に通底してきた売春女性に対するイメージはどこから来たのかを考えてみます。	
第2回	「売買春の日本近現代史」	文学部総合文化学科 専任講師 河西 秀哉
6月21日(金) 14:00~15:30	近代日本には「公娼制度」という、公が認める売買春の制度が存在しました。敗戦後には、RAAという占領軍兵士の相手をする売春婦施設を政府が設置したこともありました。また、日本国憲法で男女平等が叫ばれた世にあっても、売買春の制度は1958年の売春防止法施行まで継続しました。その中で、売春する女性や買春する男性は社会的にどのように見られていたのでしょうか？本講義では日本近現代史における売買春の実態とイメージをお話したいと思います。	
第3回	「売春防止法と風俗営業法の共存」	文学部総合文化学科 教授 米田 眞澄
6月28日(金) 14:00~15:30	日本は、売春防止法により売春を禁止する一方、風俗営業法により売春以外の性行為の売買を性風俗特殊営業として合法化しています。また、売春防止法は、単純買売春を禁止してはいますが罰則は設けていません。罰則をもって禁止しているのは、売春の勧誘、斡旋、売春のための宿の提供、資金提供そして管理売春等です。単純買売春、管理売春とは何か、また、性風俗特殊営業とは何かを法律を読み解くことで明らかにし、法規制から見える性規範について考えます。	
第4回	「戦後日本の性風俗と売春防止法」	文学部総合文化学科 専任講師 景山 佳代子
7月5日(金) 14:00~15:30	1956年の売春防止法制定によって「赤線」と呼ばれた実質的な公娼制度が消滅します。女性を生殖と快楽に二分することを自明としていた私たちの性意識は「民主主義」という理念のもとに徹底的な変更を強いられます。週刊誌『アサヒ芸能』はそれまでの現実を民主主義の理念と接合させていく新たな性を物語るメディアとなり、時代の性風俗を読者とともに紡ぎだしていました。そこで語られた性風俗の物語と現代の私たちとのつながりをみていきます。	

受講資格	一般成人・学生 *原則全4回出席できること	【受講料】	無料
申し込み	【締切】2013年5月31日(金)必着	【定員】	50名(先着順)
<p>【申込方法】受講を希望される方は次のいずれかの方法でお申込みください。(電話不可) 「往復はがき」往信の文面に「氏名(ふりがな)」「郵便番号」「住所」「電話番号」を、 返信の宛名面に、ご返送先の「郵便番号」「住所」「名前」をご記入の上、 下記宛ご送付ください。</p> <p>〒662-8505 西宮市岡田山4-1 神戸女学院大学 女性学インスティテュート 連続セミナー係 「メール」件名に「神戸女学院大学 女性学Inst. 連続セミナー(申込)」 本文に「氏名(ふりがな)」「郵便番号」「住所」「電話番号」「メールアドレス」を 明記の上、下記宛ご送信下さい。</p> <p>*迷惑メール対策等でドメイン指定受信をされている方は"mail.kobe-c.ac.jp" からのメールを受け取れる様設定をお願いいたします。</p> <p>神戸女学院大学 女性学インスティテュート事務局 wsi-o@mail.kobe-c.ac.jp</p> <p>*本学学生は、女性学インスティテュートに直接お申し込みください。</p>			
修了証	3回以上の出席者には「修了証」を発行いたします。		



【会場】

神戸女学院大学 ジュリア・ダットレー記念館 104教室(JD-104)

【交通機関】

阪急「門戸厄神」駅下車、西へ徒歩約15分

【問合先】

神戸女学院大学 女性学インスティテュート

TEL : 0798-51-8545

FAX : 0798-51-8527 e-mail : wsi-o@mail.kobe-c.ac.jp

〒662-8505 西宮市岡田山4-1 [JD館3F] URL <http://www.kobe-c.ac.jp/gender/>